

müze「博物館」→ **müzedede**「博物館で」

・トルコ語の母音は、アクセントの有無にかかわらず、概ねはっきりと発音される。

知識. 音節とは、母音を中心とした発音上のひとまとまりのこと。例えば、**Türkiye** という単語は **Tür-**, **-ki-**, **-ye** の3つの音節から成る。

長い母音

・既に述べた、母音+ğ から成る長母音以外に、一部の語では長い **a**, **e**, **i**, **u** が見られる。

長い **a** : **misafır**「客」 **beraber**「一緒に」 **tatıl**「休暇」

長い **e** : **memur**「役人・公務員」

長い **i** : **dakika**「分」 **ciddi**「真剣な」

長い **u** : **cumhuriyet**「共和国」

コメント [む1]: tatıl

<発音練習>

1. **çocuk**「子供」
2. **çiçek**「花」
3. **ceket**「上着」
4. **müzik**「音楽」
5. **ağustos**「8月」
6. **Türkçe**「トルコ語」
7. **soğan**「たまねぎ」
8. **sınıf**「教室・クラス」
9. **Japonca**「日本語」
10. **yıl**「年」
11. **yağmur**「雨」
12. **gözlük**「眼鏡」
13. **öğrenci**「学生」
14. **ışık**「光」
15. **içki**「酒」
16. **arkadaş**「友達」
17. **Günaydın**「おはよう。」
18. **Merhaba**「こんにちは。」

8. Maalesef unuttum. (unut- 忘れる)

残念ながら忘れました。

9. Bir taksi çağırdı, otele gitti. (çağır- 呼ぶ)

タクシーを一台呼んで、ホテルに行った。

10. Hiç yardım etmediler. (yardım et- 手伝う、手助けする)

彼らは何の手助けもしなかった。

名詞の起点格

- ・ **位置格**は「から、より」の格。出発点や材料、比較の基準などを表す。

コメント [む2]: 起点格

Mustafa arka kapıdan çıktı. ムスタファは裏のドアから出た。

Yoğurt süttten yapılır. ヨーグルトはミルクから作られる。

İstanbul Tokyo'dan güzel. イスタンブールは東京より美しい。

- ・ 名詞が**母音**または**有声子音**で終わる場合、接尾辞-den/-dan をつけると起点格の形ができる。

ev 家 → evden 家から

üniversite 大学 → üniversiteden 大学から

kapı ドア、門 → kapıdan ドアから、門から

- ・ 名詞が**無声子音**で終わる場合、接尾辞-ten/-tan をつけると起点格の形ができる。

iş 仕事 → işten 仕事から

süt ミルク → süttten ミルクから

sokak 通り → sokaktan 通りから

次の動詞の使い方に注意。

kork-「恐れる」: Depremden korkuyoruz. 私たちは地震を恐れています。

bahset-/söz et-「言及する」: Öğretmen sınavdan bahsetti.(söz etti).

先生は試験について言及した。

hoşlan-「喜ぶ、気に入る」: Murat Ayşe'den hoşlanıyor.

ムラトはアイシェを気に入っている。

<表現>

buradan 「ここから」 oradan 「そこから」

nereden 「どこから」 kimden 「誰から」

10. Ahmet, Ayşe'yle Antalya'ya uçakla gitmiş. 名詞の共同・手段格

名詞の共同・手段格

- ・共同・手段格は「～と（一緒に）」、「～を使って」に相当する意味を表す。

Ahmet, Ayşe'yle Antalya'ya uçakla gitmiş.

アフメットはアイシェとアンタリヤへ飛行機で行った。

- ・名詞が**子音**で終わる場合、-le/-la をつける。

kalem	ペン	kalemle	ペンで
uçak	飛行機	uçakla	飛行機で
arkadaş	友達	arkadaşla	友達と

- ・名詞が**母音**で終わる場合、-yle/-yla をつける。

öğrenci	学生	öğrenciyle	学生と
araba	車	arabayla	車で
metro	地下鉄	metroyla	地下鉄で

注意

1. 共同・手段格は付属語であり、**アクセントの移動を起こさない**。
2. 前の語につかない ile という形もある。ile は母音調和しない。

otobüs ile = otobüsle | araba ile = arabayla

コメント [む3]: (スペース)

3. 人称代名詞 ben, biz, sen, siz は、それぞれ **benimle, bizimle, seninle, sizinle** となる (→ 2 3.)。

Sizinle biraz konuşmak istiyorum. あなたと少しお話がしたい。

<表現>

neyle 「何を使って」 kiminle 「誰と」

Neyle Türkiye'ye gideceksiniz? 何を使ってトルコに行くのですか。

Kiminle sinemaya gittin? 誰と映画に行ったの。

1 1. Türkçe'yi nerede öğreniyorsunuz ? 名詞の対象格

名詞の対象格

- ・対象格は「を」の格。動作の及ぶ対象（目的語）を表す。ただし、**対象が特定化**されている場合に用いられる。

- ・名詞が**子音**で終わる場合、-i/-ü/-ı/-u をつける。

haber	知らせ	haberi	知らせを
otobüs	バス	otobüsü	バスを
fincan	カップ	fincanı	カップを
yol	道	yolu	道を

- ・名詞が**母音**で終わる場合、-yi/-yü/-yı/-yu をつける。

pencere	窓	pencereyi	窓を
şapka	帽子	şapkayı	帽子を
kapı	門、ドア	kapıyı	門を、ドアを
metro	地下鉄	metroyu	地下鉄を

☆「特定化されていない」目的語の例（対象格接尾辞がつかない）

<u>Türkçe</u> öğreniyorsunuz.	君たちはトルコ語を学んでいる。
<u>Kitap</u> okuyorum.	本を読んでいます。
Pazardan <u>üç kilo domates</u> aldım.	市場で3キログラムトマトを買った。
Kahvede <u>çay</u> içtik.	喫茶店でお茶を飲んだ。

☆「特定化された」目的語の例（対象格接尾辞がつく）

1 目的語が地名・人名などの固有名詞である場合

<u>Japonya'yı</u> hiç görmedi.	日本を見たことがない
Orada <u>Ahmet Bey'i</u> bekleyeceğiz.	そこでアフメットさんを待ちます。

2 目的語が人称代名詞 ben/biz/sen/siz, 指示代名詞 bu「これ」、o「それ、あれ／彼、彼女」、şu「ほらこれ、ほらそれ」、疑問代名詞 kim「誰」、hangisi「どれ」などの場合

Ben <u>sizi</u> bir yerde gördüm.	私はあなたをどこかで見ました。
<u>Bunu</u> size hediye ediyorum.	これをあなたにプレゼントします。
Partiye <u>kimleri</u> çağıracaksın ?	パーティーに誰々を呼ぶつもりなの。

2. kapıyı aç- ドアを開ける
3. çantamı taşı- 私のかばんを運ぶ
4. burada bekle- ここで待つ
5. gidip bir sigara al- 行って煙草を買う
6. yardım et- 手伝う、手助けする
7. bir çay getir- お茶を持ってくる
8. daha yavaş söyle- もっとゆっくり話す
9. bizi oraya götür- 私たちをそこへ連れていく
10. bizi tanıştır- 私たちを知り合わせる（紹介する）

< 会話 1 >

- Çay mı içersin, kahve mi içersin ?
—— Çay lütfen. (→P.30 飲み物)

< 会話 2 >

- Kendinizi tanıtır mısınız ? 自己紹介をしてくれますか。

◇単語 — 国名・言語名 (中東) —

Suudi Arabistan サウジアラビア Arapça アラビア語

Irak (-ğı) イラク

Suriye シリア

Lübnan レバノン

Ürdün ヨルダン

Filistin パレスチナ

Mısır エジプト

İran イラン

Farsça ペルシア語

İsrail イスラエル

İbranice ヘブライ語

コメント [む5]: (削除)

3. Sen _____ ağabey _____ bankada çalışıyor.
兄 銀行
4. Siz _____ aile _____ nerede oturuyor ?
家族
5. Ben _____ çanta _____ burada.
かばん
6. Türkiye _____ başkent _____ Ankara'dır.
首都
7. Ankara _____ hava _____ kışın çok soğuk.
アンカラの気候は冬にはとても寒い。
8. Bu sen _____ ?
これは君のか。
9. Burası siz _____ ev _____ .
ここはあなたの家です。
10. O kadın _____ koca _____ ne iş _____ yapıyor ?
その婦人の夫は何の仕事をしていますか。
11. Çalışma _____ nasıl gidiyor ?
あなたのお仕事はいかがですか。
12. Şimdi iş _____ var.
今、私の用事があります。
13. Siz _____ kaç kardeş _____ var ?
あなたの何人の兄弟がいますか。(何人ご兄弟がおありですか。)
14. Sizden bir rica _____ var.
あなたにひとつお願い(私の)があります。

コメント [む6]: (削除)

語末の音変化

- ・ 一部の名詞・形容詞は、母音で始まる接尾辞・付属語がつくと語末が変化する。

問題. これまでに出てきた、母音で始まる接尾辞・付属語をすべて挙げなさい。

1 無声子音の有声化

子音 p, t, ç, k で終わる語の中には、母音で始まる接尾辞・付属語がつくと次のような子音の変化を起こすものがある。

-p → -b	:	kitap	本	—	kitabı, kitaba, ...
-t → -d	:	kâğıt	紙	—	kâğıdı, kâğıda, ...
-ç → -c	:	ağaç	木	—	ağacı, ağaca, ...
-k → -ğ	:	çocuk	子供	—	çocuğu, çocuğa, ...

2 母音 i/ü/i/u の脱落 (→付録 5 A.)

最後の音節に母音 i/ü/i/u をもつ語の中には、母音で始まる接尾辞・付属語がつくと次のような母音の脱落を起こすものがある。このような語は辞書に示されている。

resim	絵	—	resmi, resme, ...
şehir	都市	—	şehirli, şehre, ...
burun	鼻	—	burnu, burnun, ... ただし buruna
oğul	息子	—	oğlu, oğlun, ... ただし oğula

3 末尾の子音の二重化 (→付録 5 B.)

母音で始まる接尾辞・付属語がつくと末尾の子音が二重化する語が少数ある。このような語は辞書に示されている。

hak	権利	—	hakkı
sır	秘密	—	sırrı

コメント [む7]: 接尾辞や

4 その他

su	水	—	suyun 水の、suyu 彼の水
----	---	---	-------------------

母音調和の例外 (→付録 5 C.)

- ・ 最後の音節の母音が後母音であるにもかかわらず、前母音を含む接尾辞・付属語をとる語が少数ある。このような語は辞書に示されている。

saat	時計	—	saati, saatler
rol	役割	—	rolü, roller
meşgul	忙しい	—	Meşgulüm.

EVİN HALLERİ

Behçet Necatigil (1916-1979)

Evin yalın hali
İster cüce, ister dev
Camlarında perde yok
Bomboş, ev.

Evin -i hali, sabah,
Geciktiniz haydi!
Uykuların tatlandığı sularda
Bırakacaksınız evi.

Evin -e hali, gün boyu,
Ha gayret emektar deve!
Sırtınızda yılların yorgunluğu
Akşam erkenden eve

Evin -de hali, saadet,
Isınmak ocaktaki alevde
Sönmüş yıldızlara karşı
Işıklar varsa evde.

Evin -den hali, uzaksınız
Hattı içinde yaşarken
Aşkların, ölümlerin omzunda
Ayrılmak varken evden.

コメント [む8]: Hattâ

17. Saat yedide Tokyo İstasyonu'nda olmalıyız.

複合名詞、動詞の義務形

複合名詞

- トルコ語には、「名詞＋名詞－3人称所属人称接尾辞」の形による複合名詞が多くある。

Üniversite	öğrenci	→	üniversite öğrencisi
大学	学生		大学生
okul	bina	→	okul binası
学校	建物		校舎
akşam	yemek	→	akşam yemeği
夕方	食事		夕食
buz	dolap	→	buzdolabı (buz dolabı)
氷	たんす		冷蔵庫
Çarşamba	gün	→	çarşamba günü
水曜	日		水曜日
Tokyo	istasyon	→	Tokyo İstasyonu
東京	駅		東京駅
Türkiye	cumhuriyet	→	Türkiye Cumhuriyeti
トルコ	共和国		トルコ共和国

コメント [む9]: üniversite

コメント [む10]: çarşamba

注意

- 格接尾辞がつく場合、3人称所属人称接尾辞の後に現れる子音-n-に注意。
akşam yemeğini 夕食を
Tokyo İstasyonu'ndan 東京駅から
- 複数接尾辞は、後の名詞と所属人称接尾辞との間に来る。
üniversite öğrencileri 大学生たち
çarşamba günleri (毎)水曜日
- 複合名詞が、さらに別の名詞と複合をすることもある。
İstanbul Üniversitesi öğrencileri イスタンブル大生(複数)
- 複合名詞にさらに所属人称接尾辞がつくと、元あった所属人称接尾辞は消える。
okul binası 校舎 → okul binamız 私たちの校舎
akşam yemeği 夕食 → akşam yemeği 彼の／彼女の夕食

提案形の疑問・否定

- 提案形の疑問は提案形の後に疑問の小辞 *mi/mı* を用いて作られる。
「～しましょうか」と申し出る場合や誘う場合などに用いられる。

Yardım edeyim mi ? 手伝いましょうか。

Yavaş yavaş kalkalım mı ? そろそろ行こうか。

- 提案形の否定は、単数は語幹に *-meyeyim/-mayayım*, 複数は語幹に *-meyelim/-mayalım* をつけて作られる。アクセントは語幹の最後に来る。

Bu akşam sinemaya gitmeyelim de evde kalalım.

今晚は映画に行かないで家にいましょう。

コメント [む11]: 映画館に

<練習 1>

下線部に提案形の接尾辞を入れて文を完成する。

1. Bu kitabı sana ver_____.
2. Ben sizi oraya götür_____.
3. Birlikte biraz gez_____ ?
4. Çok acıktım, haydi yemek ye_____ !
5. Seni Ahmet Bey'le tanıştır_____.
6. Bu kitapları nereye koy_____ ?
7. Bugün burada dersi bitir_____ ?
Hayır, daha çalış_____.
8. Bir düşün_____.
9. Biraz dinlen_____ ?
10. Bira içme_____, şarap iç_____.

命令形の否定

- ・単数は語幹に -me/-ma を、複数には語幹に -meyin/-mayın をつける。アクセントは語幹の最後に来る。

Yemek sırasında şarkı söyleme. 食事中に歌を歌うな。
Sakın bir daha böyle bir şey yapma. 決して二度とこんなことをするな。

- ・命令形には、疑問形はない。

<表現>

Sağ ol. / Sağ olun. 「ありがとう（ございます）。」
Kusura bakma. / Kusura bakmayın. 「ごめんなさい。」
Kendine iyi bak. / Kendinize iyi bakın. 「(お) 元気で。」
Hoşça kal. / Hoşça kalın. 「さようなら。」(立ち去る人が残る人に対して)

参考. 命令形複数の後に -iz/-üz/-ız/-uz をつけると、堅苦しい命令形ができる。この形は公式的な場面、不特定な人々に向けられた指示である場合、聞き手との間に個人的な感情を持ち込みたくない場合などに用いられる。

Çöpleri çöp kutusuna atınız. ごみはごみ箱に捨ててください。

◇単語　—服装—

elbise 服	ceket 上着
pantolon ズボン	etek (-ği) スカート
gömlek (-ği) シャツ	tişört Tシャツ
ayakkabı 靴	kravat ネクタイ
mendil ハンカチ	şemsiye 傘

◇単語　—旅行・ホテル—

seyahat (-ti)	turist 観光客
tatil 休暇	otel ホテル
resepsiyon フロント	anahtar 鍵
asansör エレベーター	bagaj 手荷物
bahşiş チップ	rehber ガイド

コメント [む12]: 旅行

19. Çantanızın içinde ne var? 存在文と所有文

var, yok

- ・ var は「ある」、yok は「ない」を表わす特殊な語。

Bira var mı? ----- Bira yok. ビールはありますか。 ビールはありません。

Yarın sınav var. 明日試験がある。

存在文：

場所の表現 + 主語 + var / yok.

- ・ 「どこそこに何々がある、どこそこにだれそれがいる。」という状況を表す。

Sokakta bir çocuk var. 通りに一人の子供がいる。

Kütüphanede çok kitap var. 図書館にはたくさん本がある。

Bu civarda postane yok. このあたりに郵便局はない。

注意.

すでに話題になっている物や人について、そのいどころを表わす場合には、

主語 + 場所の表現 の形が用いられる (var, yok を用いない)。

Misafir salonda. 客はサロンにいる。

(客について、それがどこにいるかを表す)

Krş. Salonda misafir var. サロンに客がいる。

(「客がいる」という状況を表す)

O kitaplar kütüphanede. それらの本は図書館にある。

(特定の本について、それらがどこにあるかを表す)

Krş. Kütüphanede kitaplar var. 図書館には本がある。

(「本がある」という状況を表す)

<練習 1>

トルコ語に訳しなさい。

1. バスに乗客(yolcular)がいる。
2. 教室(sınıf)に20人の学生がいる。
3. 今日 Yalçın の家でパーティー(parti)がある。
4. 財布(cüzdan)にお金(para)がない。
5. あなたに小銭(bozuk para)はありますか。

コメント [む13]: 存在文を使ってトルコ語に訳しなさい。

<練習 2>

質問にトルコ語で答える。

1. Bir yılda kaç gün var ?
2. Bir günde kaç saat var ?
3. Bir ayda kaç gün var ?
4. Bir yılda kaç ay var ?
5. Bir yılda kaç hafta var ?
6. Bir ayda kaç hafta var ?
7. Türkiye’de kaç şehir var ?
8. Cüzdanında kaç *yen* var ?

- ・ 場所の表現が、方向や位置関係を表す語 (→p.61) を含む場合に注意。

Kasanın içinde önemli dosyalar var. 金庫の中に重要なファイルがある。

Şehrin ortasında çarşı var. 町の真ん中に商店街がある。

Fabrikanın etrafında evler var. 工場のまわりに家々がある。

(etraf 「まわり」)

Okulumuzun karşısında bir tapınak var. 学校の向かいにお寺がある。

Çantanızın içinde ne var ? かばんの中に何がありますか。

◇単語 一方位・方向一

kuzey 北

güney 南

doğu 東

batı 西

ileri 前 (へ)

geri 後 (へ)

yukarı 上 (へ)

aşağı 下 (へ)

içeri 中 (へ)

dışarı 外 (へ)

コメント [む14]: yukarı

位置格+ -ki

Raftaki mallar pahalı. 棚にある品物は高い。

- ・位置格の後ろに -ki のついた -deki/-daki/-teki/-taki は「～にある、～にいる」という意味を持ち、名詞を修飾する。また単独で「～にあるもの、～にいるもの」という意味で名詞的にも用いられる。 **-ki は母音調和しない。**

evde	家に	evdeki misafir	家にいる客
burada	ここに	buradaki kitaplar	ここにある本
otobüste	バスに	otobüsteki yolcular	バスにいる乗客たち
şehrin ortasında	町の真ん中	şehrin ortasındaki çarşı	町の真ん中にある商店街

所有格+ -ki

Ağabeyimin bisikleti yeni, benimki eski. 兄の自転車は新しいが私のは古い。

- ・所有格の後ろに -ki のついた -(n)inki/-(n)ünki/-(n)ınki/-(n)unki は単独で「～のもの」という意味で名詞的に用いられる。 **-ki は母音調和しない。**

その他

- ・時を表す語句に -ki がついて、名詞を修飾するものがある。 -ki はやはり母音調和しないが、gün, dün につくときは -kü となる。

yarın	明日	yarınki ders	明日の授業
bu hafta	今週	bu haftaki konser	今週のコンサート
bugün	今日	bugünkü gazete	今日の新聞
dün	昨日	dünkü olay	昨日の事件

注意 -ki の後ろにはほかの格接尾辞が続くときは、3 人称所属人称接尾辞の場合と同じように、-ki とその後ろの接尾辞との間に **子音 -n-** がはさまれる。

Elinizdekini verin. あなたの手にあるものを下さい。 (-ki + -n- + 対象格)

Sizin okulunuz bizimkinden daha büyük. 君たちの学校は私たちのより大きい。 (-ki + -n- + 起点格)

<練習 4>

例のように、-ki を用いて書き換える。

例 Sokakta araba var. 小路に車がある。

→ Sokaktaki araba 小路にある車

コメント [む15]: sokaktaki

1. Evde misafir var. 家に客がいる。

→

2. Otobüste yolcular var. バスには乗客がいる。

→

3. Arabada yük var. 車に荷物がある。

→

4. Kavanozda reçel var. 瓶にジャムがある。

→

5. Kütüphanede kitaplar var. 図書館に本がある。

→

6. Şehrin ortasında çarşı var. 町の真ん中に商店街が**る**。

→

コメント [む16]: ある

7. Cüzdanımda para var. 私の財布に金がある。

→

8. Fabrikanın etrafında evler var. 工場の周囲に家がある。

→

9. Bu binanın sekizinci katında konferans salonu var. このビルの8階に会議場がある。

→

10. Çantanın içinde defterim var. 鞆の中に私の手帳がある。

→

◇単語 一暦一

gün 日

ay 月

mevsim 季節

ilkbahar 春

sonbahar 秋

hafta 週

yıl / sene 年

takvim カレンダー

yaz 夏

kış 冬

コメント [む17]: kış

20. İstanbul, Türkiye'nin en büyük şehridir. 断定の付属語

断定の付属語

Türkiye'nin başkenti Ankara'dır.	トルコの首都はアンカラです。
Sigara içmek yasaktır.	たばこを吸うことは禁じられています。
Nasılsınız ? İyisinizdir inşallah.	ご機嫌いかがですか。きっとお元気のことでしょう。

- ・断定の付属語 -dir/dür/-dır/-dur は述語につく。文体によって意味が異なる。

コメント [む18]: -dür

- (1) 改まったスタイルの話し言葉や書き言葉で:「～です」「～である」

主語が3人称の場合に限って用いられる。

特に、完了形に断定の付属語がついた -miştir は過去形の代わりとしてよく用いられる。

Ankara, 1923 senesinde başkent olmuştur.

アンカラは1923年に首都になりました。

- (2) 通常の話し言葉で:「たぶん～でしょう」「きっと～にちがいない」

主語は1人称や2人称のこともある。

Orhan Bey şimdi Adana'dadır.

オルハン氏はおそらく今アダナにいます。

Bu iş iyi değil. Hızlı yapılmıştır.

この仕事は良くない。急いでやったに違いない。

Siz de bunu görmüşsünüzdür.

あなたもこれをご覧になったことでしょう。

注意

1. 無声子音の後では -tir/tür/-tır/-tur となる。
2. 断定の付属語には、アクセントが移動しない。

コメント [む19]: -tür

断定の付属語の特殊な用法

- ・-dir/dür/-dır/-dur は、期間を表す語に付けられることがある。

コメント [む20]: -dür

İki gündür uyumuyoruz.	2日間眠っていません。
Üç yıldır Rahim'le görüşmedim.	3年間ラーヒムと会っていない。

2 2. Şimdi televizyon seyrediyormuş. 伝聞・推量の付属語

伝聞・推量の付属語

Şimdi televizyon seyrediyormuş.	今テレビを見ているそうだ。
O şarkıcı çok ünlüymüş.	その歌手はとても有名だそうだ。
Bir güzel prenses varmış.	ひとりの美しい王女がいたそうだ。
Yarından itibaren hava sıcaklığı artacakmış.	明日から気温が高くなるそうだ。
Her sabah yaşlı bir adam bu parka gelirmiş.	毎朝ひとりの老人がこの公園に来るそうだ。

- ・推量の付属語 -miş/-müştü/-miş/-muş は文末に付加されて、表されている内容が他からの伝聞や、話し手の推量によることを表す：「～そうだ」「～そうだった」「～らしい」「～らしかった」。

Çalışkan. 勤勉だ。	→	Çalışkanmış. 勤勉らしい。
Çalışıyor. 働いている。	→	Çalışıyormuş. 働いているらしい。
Çalışacak. 働く予定だ。	→	Çalışacakmış. 働く予定らしい。

参考．完了形 -miş につくと、かなり以前の、非常に不確実な事柄を表す（ただしあまり用いられない）。過去形 -di にはつかない。

注意 ー完了形の接尾辞との違いー

1. 付属語 -miş は「伝聞・推量」を表すものであり、「完了」の意味はもたない。
2. 完了形の接尾辞と違い、**母音の後では -ymiş/-ymüş/-ymiş/-ymuş** となる。

コメント [む22]: あるいは驚き(意外性)」

Arkadaşım hastaymış. Hastaneye gitmeliymiş.

私の友人は病気らしい。病院へ行かなければならないらしい。

3. 推量の付属語には**アクセントが移動しない**。
4. 独立して書かれる imiş という形もある。imiş は母音調和しない。
Çalışkan imiş. = Çalışkanmış.
5. 3人称複数を表す -ler は、付属語 -miş の前に置かれるのが普通である。

推量の付属語の疑問・否定

- ・疑問文では、疑問の付属語 mi に推量の付属語 -ymiş がついて **-miymiş/-müymüş/-mıymış/-muymuş** となる。

コメント [む23]: -miymiş/
müymüş/mıymış/muymuş

göre 「～によれば」「～にふさわしい」、kadar² 「～まで (に)」、
rağmen 「～にもかかわらず」

・前に来る名詞は**方向格**

Gazeteye göre eski başbakan vefat etmiş.

新聞によれば、元首相が亡くなったそうだ。

Bu kitap çocuklara göre değil. この本は子供向きではない。

Sınav için sabaha kadar ders çalıştı. 試験のために朝まで勉強した。

İstasyona kadar yürüdük. 私たちは駅まで歩きました。

Ali hastalığına rağmen okula gitti.

アリは病気にもかかわらず学校へ行った。

<練習 2>

後置詞 göre, kadar, rağmen を使ってトルコ語に訳す。

1. 天気予報(hava raporu)によれば、明日雨が降る。
2. きょう 9 時まで学校にいました。
3. 私としては、彼らは留年 (sınıfta kal-) するべきだ。
4. 今までに何回(kaç defa)日本に来ましたか。
5. 悪天候(kötü hava)にもかかわらず彼らは海(deniz)に出た。

コメント [む24]: 降るそうだ

başka 「～以外に」、beri 「～以来」、önce 「～の前に」、sonra 「～の後に」

・前に来る名詞は**起点格**

Bundan başka ne istiyorsunuz ? このほかに何がほしいですか。

Dünden beri boğazım ağrıyor. 昨日から喉が痛い。

Tatilden önce sınav var. 休みの前に試験がある。

Sınavdan sonra sinemaya gittik. 試験の後で映画館に行った。

<練習 3>

後置詞 başka, beri, önce, sonra を使ってトルコ語に訳す。

1. 君の他に誰が来るの。
2. きこの夜から私は病気です。
3. これ以外に手立て(çare)はない。
4. 食事(yemek)の後で少し働きましょう。
5. 買い物(alışveriş)の前に銀行(banka)に行きます。
6. 授業(ders)の後で何をしますか。
7. 5時から君を待っています。

参考 1 . başka, önce, sonra は単独で次のように用いられることもある。

Başka sorunuz var mı ? 他に質問はありますか。

Önce su kaynatın, sonra sebze koyun.

まずお湯をわかして下さい。それから野菜を入れて下さい。

参考 2 . 期間を表す語 + önce, sonra

İki yıl önce Japonya'ya geldim. 2 年前に日本に来ました。

Otuz dakika sonra uçağımız kalkacak. 30 分後に私たちの飛行機が出る。

<表現>

onun için 「そのため」(原因・理由)

Zamanında çalışmadı. Onun için sınıfta kaldı.

必要な時に勉強しなかった。そのため、留年した。

-mek/-mak için 「～するため」(目的 → 29. 動名詞 [1])

Türkiye'ye gitmek için para biriktiriyorum.

トルコに行くためにお金をためています。

ona rağmen 「それにもかかわらず」

Kâzım henüz tam iyileşmiş değil. Ona rağmen her gün geç saatlere kadar çalışıyor.

キャーズムはまだすっかり良くなったわけではない。それにもかかわらず

毎日遅い時間まで働いている。

öğleden önce 「午前」

öğleden sonra 「午後」

öğleden sonra iki dersim var. 午後私の授業が2つある。

コメント [む25]: Öğleden

疑問詞

・疑問詞に使った疑問文では、疑問の付属語 **mi** は用いられない。

・ kim 「誰」、ne 「何」、nere 「どこ」、hangisi 「どれ」

主格	kim	ne	neresi	hangisi
対象格	kimi	neyi	nereyi	hangisini
方向格	kime	neye	nereye	hangisine
位置格	kimde		nerede	hangisinde
起点格	kimden	neden	nereden	hangisinden
所有格	kimin	neyin	nerenin	hangisinin
共同・手段格	kiminle	neyle	nerıyla	hangisiyle

kim は後置詞 gibi, için, kadar の前で **kimin**。

ne に所属人称接尾辞がつくと、neyim, neyin, neyi(nesi) のようになる。

複数接尾辞のついた **kimler, neler** は規則的な変化をする。

コメント [む26]: (→ 24.)。

<表現>

Kim o? 「どなたですか。」(ドア越しに)

ne demek 「何のことですか」: **“Haber” ne demek?** (→ 29. 動名詞 [1])

Ne iş yapıyorsunuz? 「何の仕事をなさってますか。」

Burası neresi? 「ここはどこですか。」

nereli 「どこ出身の」: Nerelisiniz?

コメント [む27]: “

比較

Orada **ne** gördün?

Orada **kimi** gördün?

・ hangi 「どの」、kaç 「いくつ」、ne kadar 「どれくらい、いくら (値段)」、
kaçıncı 「何番目の」

Hangi okulda okuyorsun?

Hangi ülkedensiniz? (ülke 国)

Kaç kardeşsiniz?

Kaç çocuğunuz var?

Japonca Türkçe'ye ne kadar benziyor?

Şu beyaz peynirin kilosu ne kadar? (beyaz peynir 白チーズ)

5. Atatürk, Türkiye Cumhuriyeti'nin ilk cumhurbaşkanı seçildi.

6. Sporda yenmek de yenilmek de var.

7. Bu sabah hem su hem de elektrik kesildi.

camî モスク cumhurbaşkanı 大統領 fethet- 征服する
ilk 最初の inşa et- 建設する kes- 切る keşfet- 発見する
kur- 築く、建国する seç- 選ぶ yen- 勝つ

能動文と受け身文（２）

- ・能動文が「Aが…する（した）」の場合
→ 受け身文：「…される（された）」

Siz bu yoldan Kızılay'a gidersiniz. 君たちはこの道からクズライへ行く。

↓

Bu yoldan Kızılay'a gidilir. この道からクズライへ行かれる。

能動文に「Bを」にあたるもの（直接目的語）がない場合、対応する受け身文は
主語のない受け身文となる。この場合動詞は3人称の形をとる。

一般的な動作を表す受け身文

- ・行為者「Aによって」が特定されないような受け身文は、一般的な動作を表すことがある：「みんなによって…される（された）」「みんなが…する（した）」

Bu bayramda yaşlılar ziyaret edilir ve onların elleri öpülür.

このバイラムでは（みんな）お年寄りを訪問し、彼らの手にキスする。

Dünkü partide yendi, içildi, çok eğlenildi.

昨日のパーティーでは（みんな）食べて、飲んで、とても楽しんだ。

- ・特にその中立形（肯定・否定）は、誰にとってもあてはまるような、一般的・永続的な可能・不可能あるいは許可・禁止を表すためによく用いられる。

Burada sigara içilir.

ここではたばこが吸える。

Harajuku'ya nasıl gidilir? 原宿にはどうやって行けますか。

Burada park edilmez. ここには駐車できない。駐車してはいけない。

Bu kapıdan girilmez. この入り口からは入れない。

コメント [む28]: ここでは

<練習 2>

必要な接尾辞や付属語などを補い、受け身文を作る。

例 yoğurt / süt / yap-

→ Yoğurt süttten yapılır. ヨーグルトはミルクからつくられる。

1. pul / postane / sat- (pul 切手)
2. cüzdanım / çal- (cüzdan 財布 çal- 盗む)
3. bu su / iç- / ?
4. bu dükkân / saat on / aç- (dükkân 店)
5. “Hamlet” / Şekspir / yaz-
6. Türkiye / çok zeytin / ye- (zeytin オリーブ)
7. o profesör / bıçak / öldür- (bıçak ナイフ öldür- 殺す)
8. bura / araba / park et- / ? (park et- 駐車する)

◇単語 ―果物―

elma りんご	armut (-du) なし
portakal オレンジ	mandalina みかん
kavun メロン	karpuz すいか
üzüm ぶどう	kiraz さくらんぼ
muz バナナ	meyve 果物

コメント [む29]: üzüm

◇単語 ―野菜―

domates トマト	patates じゃがいも
patlıcan なす	biber ピーマン、とうがらし
soğan たまねぎ	havuç (-cu) にんじん
lahana キャベツ	ıspanak (-ğı) ほうれんそう
salatalık (-ğı) きゅうり	sebze 野菜

Sen konuşamazsın. 君は話すことができない。
Siz konuşamazsınız. 君たち／あなた／あなた方は話すことができない。

- Konuşamıyor.
- Konuşamadı.
- Konuşamamış.
- Konuşamayacak.

<練習 1>

可能の動詞を不可能の動詞に変える。

例 Konuşabilir. 話すことができる → Konuşamaz. 話すことができない

1. Gelebilir. 来ることができる →
2. Anlatabilir. 説明することができる →
3. Yiyebilir. 食べることができる →
4. Öğrenebilir. 学ぶことができる →
5. Uyuyabildi. 眠ることができた →
6. Görüşebildi. 会うことができた →
7. Anlayabildi. 理解することができた →
8. Gidebildi. 行くことができた →
9. Okuyabiliyor. 読むことができる →
10. Katılabilecek. 参加することができる →

コメント [む30]: Görüşebildi

<練習 2>

動詞の語幹から不可能の動詞を作り、文を完成する。

例 konuş-「話す」→ konuşama- 話すことができない
Ben Türkçe konuşamam. 私はトルコ語を話せない。

1. yüz-「泳ぐ」→
Ben yüz_____. 私は泳げない。
2. anla-「理解する」→
Siz anla_____. あなたは理解できませんでした。
3. bul-「見つける」→
Biz bul_____. 私たちは見つけることができなかった。

進行形 -mekte/-makta 「～している」

- ・動名詞 -mek/-mak に位置格接尾辞のついた-mekte/-makta は、述語として動作の進行を表す（文章語的）。

Belediyede çalışmaktayım.	市役所で働いています。
Otobanlar inşa edilmektedir.	高速道路が建設されつつある。
O zaman ders çalışmaktaydı.	彼はその時勉強していた。

demek

- ・ de- 「～と言う」の動名詞形 demek には次のような用法がある。

"Öğrenci" ne demek ?	"Öğrenci"とはどういう意味ですか。
"Öğrenci" demek, "gakusei" demek.	"Öğrenci"とは「学生」という意味です。

コメント [む31]: “

コメント [む32]: “

◇単語 ースポーツー

futbol サッカー	beysbol 野球
tenis テニス	voleybol バレーボール
güreş レスリング	judo 柔道
yüzme 水泳	kayak (-ğı) スキー
maç 試合	spor スポーツ

Ama ders çalışmayı hiç sevmedim.

しかし授業の勉強をするのは大嫌いでした。

Artık Türkçe öğrenmekten vazgeçtim.

もうトルコ語を学ぶことはあきらめました。

対象格	(öğrenmeği*)	öğrenmeyi	学ぶことを
方向格	(öğrenmeğe*)	öğrenmeye	学ぶことに
所有格		öğrenmenin	学ぶことの
位置格	öğrenmekte		学ぶことにおいて
起点格	öğrenmekten		学ぶことから
共同・手段格	öğrenmekle		学ぶことで
+後置詞	öğrenmek için		学ぶために

*動名詞 -mek/-mak に方向格や対象格接尾辞のついた -meğe/-mağa, -meği/-mağı は、それぞれ-meye/-maya, -meyi/-mayı と同じ意味で用いられる。

<練習 1>

下線部に動名詞の接尾辞(-mek/-mak または-me/-ma)と格接尾辞を補う。

1. Futbol seyret _____ sever misin?
2. Tatilde bir yere git _____ planlıyor musunuz? (planla- < plan)
3. Sevgilisine hediye al _____ unutmuş.
4. Ne zaman Türkçe öğren _____ başladınız?
5. Çok işim var, ama gel _____ çalışacağım.
6. Türkiye, gör _____ değer bir ülke. (değer 値する)
7. Türkçe bil _____ avantajı (avantaj 利点)
8. Bunu oku _____ fayda var. (fayda 益)
9. Yanlışlık yap _____ korkma. (yanlışlık 間違い)
10. Öğretmene soru sor _____ çekinme. (çekin- 遠慮する、ためらう)

コメント [む33]: -e değer ~に値する

コメント [む34]: -den çekin- ~を遠慮する、ためらう

動名詞 -me/-ma +所属人称接尾辞 (+格接尾辞・付属語、後置詞)

- ・動名詞 -me/-ma に所属人称接尾辞がつくことがある。この所属人称接尾辞は、
動名詞が表す動作の主体 (意味上の主語) を表す。

(benim) öğrenmem	私の学ぶこと (=私が学ぶこと)
(bizim) öğrenmemiz	私たちの学ぶこと (=私たちが学ぶこと)
(senin) öğrenmen	君の学ぶこと (=君が学ぶこと)
(sizin) öğrenmeniz	君たち／あなた／あなたがたの学ぶこと (=君たち／あなた／あなたがたが学ぶこと)
(onun) öğrenmesi	彼／彼女の学ぶこと (=彼／彼女が学ぶこと)

<練習 1>

意味の違いを考えて見なさい。

1a. Gelmek lâzım.

1b. Orhan'ın gelmesi lâzım.

2a. Günde sekiz saat uyumak gerek.

2b. Günde sekiz saat uyumam gerek.

3a. Öyle düşünmek doğru.

3b. Öyle düşünmeniz doğru.

4a. Ara sıra spor yapmak lâzım. (ara sıra 時折)

4b. Ara sıra spor yapmanız lâzım.

5a. Bu kitabı okumak istiyorum.

5b. Senin bu kitabı **okumanı** istiyorum.

コメント [む35]: okumanı

6a. Biraz dinlenmek istiyorum.

6b. Ali'nin biraz dinlenmesini istiyorum.

<練習 2>

動名詞-me/-ma+所属人称接尾辞を使って言い換える。5.-8.では動詞 iste-を使うこと。

例 Biz daha çok çalışmalıyız. → Bizim daha çok çalışmamız lâzım.

1. Acele etmelisiniz. →
2. Acele etmemelisiniz. →
3. Sağlığınıza daha dikkat etmelisiniz. (sağlık 健康) →
4. Saat kaçta istasyonda olmalısın? →
5. Bana biraz yardım edin. →
6. Leyla Hanım'la görüş. →
7. Çocuklar artık eve dönsün. →
8. Bu mektubu Japonya'ya gönderin. →

不必要の表現

Merak etmenize lüzum yok. (あなたは) 心配する必要はありません。

コメント [む36]: yok

- ・ 不必要（「～する必要がない」）は、動名詞の方向格「…の～することに対して」
+ lüzum yok (または gerek yok) 「必要（性）がない」という形で表現される。

<練習 3>

動詞の語幹から副動詞 -(y)erek を作る。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ağla- 泣く → | 6. gül- 笑う → |
| 2. çalış- 働く → | 7. uç- 飛ぶ → |
| 3. dene- 試す → | 8. uyu- 眠る → |
| 4. dinle- 聴く → | 9. ye- 食べる → |
| 5. düşün- 考える → | 10. yürü- 歩く → |

<練習 4>

副動詞の用法に注意して日本語に訳す。

1. Murat yeni arabayı deneyerek kullandı.
2. İlkbaharda göçmen kuşlar uzak memleketlerden uçarak gelirler.
3. Yemek yiyerek konuşalım.
4. Bu öğrenci çalışarak okuyor.
5. Öğretmeni dinlemeyerek yanındaki arkadaşıyla konuşuyor.
6. Ayşe, Ahmet'le istemeyerek evlendi ama sonra mutlu oldu.
7. Arkadaşım yanıma gelip gülererek benimle konuştu.
8. Sorulara düşünerek cevap verin.
9. İstasyona kadar yürüyerek beş dakika sürer.
10. Müzik dinleyerek ders çalışıyor.
11. Ahmet burslu öğrenci olarak Japonya'ya geldi.
12. Biz uyuyarak Antalya'ya kadar gittik.

コメント [む37]: gittik

dene- 試す göçmen kuşlar 渡り鳥 mutlu 幸せな soru 質問
burslu öğrenci 奨学生 liman 港

コメント [む38]: (削除)

<練習 1>

例にならって、形動詞を使った表現を作る。

例 bin- 乗る → bindik

→ benim bindiğim tren	私が乗った列車」
bizim bindiğimiz tren	私たちが乗った列車」
senin bindiğin tren	君が乗った列車」
sizin bindiğiniz tren	君たち／あなた／あなたがたが乗った列車」
onun bindiği tren	彼・彼女が乗った列車」

1. al- 取る、買う →
2. anlat- 説明する、物語る →
3. gönder- 送る →
4. oku- 読む →
5. otur- 座る →
6. pişir- 料理する →
7. sev- 愛する →
8. ver- 与える →
9. yap- する →
10. yaz- 書く →

コメント [む39]: 住む

<練習 2>

形動詞 -dik/-tik を使って、下線部の名詞を修飾する表現に書き換える。

例 Çocuk kitap okuyor. 子供は本を読んでいる。
→ çocuğun okuduğu kitap 子供が読んでいる本

コメント [む40]: kitap

1. Nuri dün bir araba aldı.
2. Bakkaldan gazete aldınız.
3. Arkadaşa mektup yazdım.
4. Çantayı trende unuttunuz. (çanta かばん)
5. Kızlar sinemada film seyrediyor.

6. Ben bu evde oturuyorum.

7. Manavdan elma aldık.

8. Hoca ders anlatıyor.

コメント [む41]: ders

9. Hoca öğrencilere ders anlattı.

10. Onlar arabadan indi. (in- 降りる)

名詞的に使われる形動詞

- ・後に来る名詞が「省略」され、形動詞 -dik/-tik + 所属人称接尾辞が名詞のように用いられることがある。

Söylediğiniz yanlış değil.

あなたのおっしゃることは間違っていない。

格接尾辞などがつくこともある。特に、複数接尾辞がつく場合に注意。

Benim söylediğimi anlayabildiniz mi ?

私の言ったことが理解できましたか。

コメント [む42]: を

Gördüklerinizi yazın. あなたが見たものを書いて下さい。

Ben bugün okula gelemeyeceğim.

→ (benim) bugün okula gelemeyeceğim

Arai Hoca'ya bugün okula gelemeyeceğimi söyleyin.

新井先生に、今日は学校に行けないと伝えて下さい。(対象格)

<練習 1>

形動詞を使って名詞化し、他の文の中に組み込む。

例 İbrahim Japonya'ya geldi. イブラヒムは日本に来た。

→ İbrahim'in Japonya'ya geldiği イブラヒムが日本に来たということ

→ İbrahim'in Japonya'ya geldiğini duydum.

イブラヒムが日本に来たということを聞いた。

1. Siz Japonya'ya geleceksiniz.

→ Sizin _____ hiç aklıma gelmedi. (思い浮かばなかった)

2. Hasan nereye gitti?

→ Hasan'ın _____ belli değil. (明らかでない)

3. Ayşe Ahmed'i hiç sevmiyor.

→ Ayşe, _____ açıkça söylüyor. (はっきり言っている)

コメント [む43]: Ahmet'i

4. Türkçe konuşuyorum.

→ _____ görünce hayret ettiler. (見るとみんな驚いた)

5. Dünya yuvarlaktır. (dünya 地球 yuvarlak 丸い)

→ Dünya _____ kim buldu? (誰が見つけましたか)

6. Dünya yuvarlaktır.

→ Dünya _____ inanmadılar. (信じなかった)

コメント [む44]: inanmadılar.

7. Gelemeyeceksiniz.

→ _____ çok üzüldüm. (とても残念です)

8. Çocukken buraya geldim.

→ _____ eminim. (確信しています)

<練習 2>

条件の付属語を使って2つの文をつなぎなさい。

例 Tokyo'ya gelin. / Sizi gezdiririm.

→ Tokyo'ya gelirseniz sizi gezdiririm.

1. Türkçeyi unutursunuz. / Bütün emekleriniz kaybolur. (emek 努力)

2. Vaktiniz var. / Sizi ziyaret etmek istiyorum. (ziyaret et- 訪問する)

3. Yarın işiniz yok. / Beraber pikniğe gidelim.

4. Şu kitabı Mehmed'e gönderin. / Çok sevinirim.

コメント [む45]: Mehmet'e

5. Yemek acı değil. / Ben de yerim.

6. Çakmağınız var. / Verir misiniz ? (çakmak ライター)

7. Arkadaşın hasta. / Hemen yatsın.

8. Yanılmıyorum. / Sizinle Ankara'da görüşmüştük. (yanıl- 間違える)

9. Bu işleri bitirmelisiniz. / Ben de size yardım edeyim.